

記入見本

海外在留証明書

Certificate of Overseas Residence

原則として、発行責任者の公印（職印）をお願いします。
なお、公印が押せない場合、発行責任者のサインも可です。

玉川学園 学園長 殿

証明年月日 [西暦] 2026年 10月 1日
会社(機関)名 株式会社〇〇〇〇
会社(機関)所在地 東京都〇〇区〇〇 ××-××-××
責任者 職・氏名 人事部長 △△△△ 印

保護者と志願者の在留開始日または終了日が異なる場合は、記入例を参考に以下の欄に理由を記入してください。

下記の者は、貴校志願者を伴い、海外に在留(勤務・留学)したことを証明します。
I hereby certify that the below-mentioned employee accompanied the applicant to your school overseas and resided therein as given in detail below.

いずれかに○をしてください

社員(保護者)氏名: _____ 志願者氏名: _____

Table with columns for '保護者の在留期間[西暦]', '志願者在留期間[西暦]', and '在留地' (Country/City). It contains two rows of data: one for China (Beijing) and one for the UK (London), with '現在在留中' (Currently Residing) circled in the second row.

*保護者と志願者の在留開始日または終了日が異なる場合、その理由をご記入ください。
開始日: 例①勤務の都合により、保護者が先行渡航したため 例②: 保護者在留中に志願者が誕生したため。
終了日: 例③保護者在留期間中に伴い、志願者は生活準備のため先に帰国するため。

証明日時点で在留中の場合、表中の「現在在留中」に○を付けてください。この場合、入学後に帰国年月日確認させていただきます。

在留地が複数の国・都市にまたがる場合、保護者・志願者の在留期間が連続している場合のみ在留期間として通算されません。

《注意事項》

- *保護者の所属する会社(機関)で証明を受けてください。
*欄が足りない場合は、複写してお使いください。